

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お客様	お名前	電話番号	-	-
	様			
	ご住所 〒			
型式	<input type="checkbox"/> DW-301 <input type="checkbox"/> DW-302	販売元社名		®
ご購入日	年 月 日	住所 〒		
保証期間	ご購入日より1年間	電話番号	-	-

<無料修理規定>

- 取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。
- この商品は出張修理させていただきますので、出張修理に際して本書をご提示ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - 維持管理の不備や取扱説明書に記載している警告・注意事項および内容を守らず使用された場合の故障および損傷
 - お買い上げ後の取付け・取付場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
 - 一般家庭以外(業務用または車両・船舶など)での使用による故障および損傷
 - 専門業者以外の修理・分解・改造などによる故障および損傷
 - 当社の手配によらない第三者による組立上の不注意・過失による故障および損傷
 - 消耗部品の消耗による故障および損傷
 - 消耗部品の取替えおよび保守などの費用
 - 経年変化による変色・キズ・カビの発生・汚れの固着・摩耗・劣化・使用に伴う外観変化
 - 砂・ゴミかみによる故障および損傷
 - 指定規格以外の電源(電圧・周波数)・水圧などによる故障および損傷
 - 火災・爆発などの事故・地震・水害・落雷・凍害などの天災地変・公害・ガス害(硫化水素ガス・塩素ガスなど)・塩害による故障および損傷
 - 動物や虫などによる故障および損傷、またその死骸の製品内残留による故障および損傷
 - 温泉水・井戸水など、水道関連法令に定める飲料用水水質基準に適合しない水を給水したことによる故障および損傷
 - 製品の凍結による故障および損傷
 - 購入時、実用化されていた技術では予防することが不可能な事象、またこれらが原因で生じた事故による故障および損傷
 - 製品に接続している他の機器が原因で生じた故障および損傷
 - キズなど、外観の不具合で購入時に申し出がなかったもの
 - 保証期間経過後に申し出があった、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書に必要な事項の記入がない場合、また字句が書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※修理を依頼される前に、【35・36ページ】の「故障かな?と思ったら」をご確認ください。

<ご連絡いただきたい内容>

- お客様のお名前・ご住所・電話番号 ●型式「DW-301またはDW-302」 ●製造番号 ●故障の状況(できるだけ具体的に)



〈製造元〉
株式会社Deto
〒500-8844
岐阜県岐阜市吉野町6-14大樹生命岐阜駅前ビル7階
Detoコールセンター
0120-571-131
【受付時間】9:00~18:00(土日祝を除く)

201912.6



温水洗浄便座

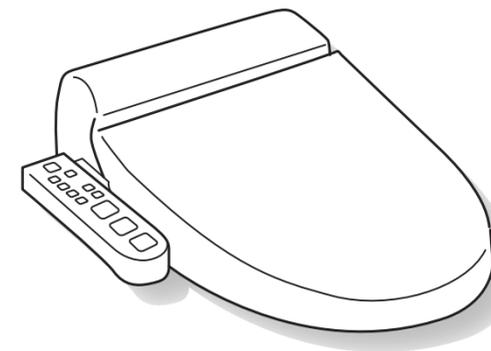


型 式 DW-301
DW-302

取扱説明書

施工説明書付 保証書付

貯湯式で2012年度省エネ基準達成率122%



かんたん使いこなしまニュアル

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お手入れ方法や操作方法をわかりやすくご説明させていただいております。
- ご使用前に「安全上のご注意 →P.1~4」を、必ずお読みください。
- 保証書は、本書 →裏表紙 についております。ご購入日などの記入を確かめ大切に保管してください。
- 写真やイラストは説明用のため、実際とは多少異なります。

もくじ

安全上のご注意	1
各部の名称	5
取付方法(施工説明書)	7
基本操作 洗浄する	17
調節する 快適にご利用いただくために	19
その他の機能	23
お手入れ・掃除の方法	25
凍結予防・長期間使用しないとき	33
故障かな?と思ったら (よくあるお問い合わせ)	35
交換部品	37
仕様	39
重大事故防止のためのお願い	40
保証書	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、正しくお使いください。

警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

注意 傷害や物的損害が発生するおそれがある内容です。

してはいけない禁止の内容です。

実行しなければならない強制の内容です。

警告

警告

安全上のご注意

安全上のご注意

火災・感電のおそれ

本体や電源プラグに水や洗剤などをかけない
(感電・ショートによる火災の原因)

たばこなどの火気類を近づけない
(火災の原因)

禁止

- 電源コード・電源プラグは傷つけたり破損させない
(無理に曲げる・ねじる・引っばる・加熱する・加工する・重い物を載せる・束ねるなど)
- 損傷した電源コード・電源プラグは使用しない
- 電源プラグの抜き差しは、濡れた手でしない

電源コードや電源プラグは正しく使用する
(火災・感電の原因)

- 指定のコンセント(定格15A・交流100V)を単独で使用する
- 電源プラグは根元までしっかり差し込む
- 電源プラグの抜き差しは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って行う
- トラッキング現象*防止のため、電源プラグのほこり、汚れなどは定期的に掃除する

実行する

※トラッキング現象
電源プラグにたまったほこりと湿気により、微小電流が流れ、そのまま使用し続けると、ショートし発火する現象です。

- ノズル以外のお手入れ・掃除のときは電源プラグを抜く

アース工事をする [アース線接続例]

(漏電時の感電の原因)

- D種接地工事をする
- コンセントのアース端子にアース線を取り付ける



故障したままでは使用しない
(火災・感電・ケガ・室内浸水の原因)

- 異常・故障時には電源プラグを抜き、止水栓を閉め、直ちに使用を中止する

禁止

下記項目に当てはまる場合はすぐに販売元に連絡してください。→裏表紙

配管接続部や本体内部で水漏れしている・本体にひび割れや破損がある・異音(脱臭ファンや作動時の音を除く)や異臭(こげ臭)がする・電源プラグや電源コードが異常に熱くなっている・電源コードを動かすと、電源が切れたり、入ったりする・発煙しているなど

お手入れの際は…

水を抜くときや本体を立てる時は必ず電源プラグを抜く
(感電・火災の原因)

実行する

隙間のお手入れの際には針金などの金属を使用しない
(感電・ショートによる火災の原因)

禁止

低温やけどのおそれ

低温やけどを予防する
便座に長時間皮膚が触れていると、低温やけどの原因になります。特に以下のような方が使用される場合は、まわりの方が温度調節などに注意してください。

実行する

お子様・高齢者・皮膚の弱い方・皮膚感覚の弱い方・自分で温度調節が困難な方・眠気を誘う薬(風邪薬・睡眠薬など)を服用された方・深酒の方・疲労の激しい方・特に高齢者や介護が必要な方などのご使用には注意してください。

身体への著しい障害を予防する
化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けている方は、ご使用前に必ず医師に相談してください。

実行する

施工前のご注意

取付方法(施工説明書)に従って施工する →P.7~16
(水漏れ・火災・感電の原因)

同梱部品および指定の部品を使用し施工する
(水漏れ・火災・感電の原因)

電気工事は内線規程に従って施工する
(火災・感電の原因)

禁止

車両や船舶などの移動体には設置しない
(感電・ショートによる火災の原因)

日本の上水道以外では使用しない
(故障・皮膚の炎症などの原因)

バスルームや湿気が多い場所には設置しない
(火災・感電の原因)

修理技術者以外の方が分解、修理をしない
(感電・発火・異常作動によるケガの原因)

水場使用禁止

分解禁止

安全上のご注意

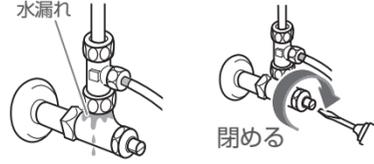
必ずお守りください

安全上のご注意

⚠ 注意

水漏れによる室内浸水のおそれ

水漏れが発生したときは
止水栓を閉める
(室内浸水の原因)



発売元に連絡してください。→裏表紙

水抜き栓を緩めるときは
必ず止水栓を閉める
(水漏れの原因)



実行する

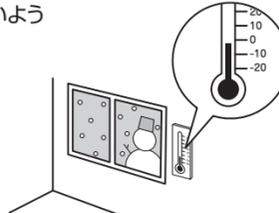


水抜き栓を緩め排水した後は、
必ず水抜き栓を閉める
(水漏れの原因)



凍結による破損を予防する
(配管や本体内部が破損して水漏れの原因)

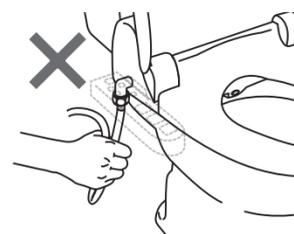
外気温が0℃以下になるときは、
水抜きや凍結しないよう
暖房してください。



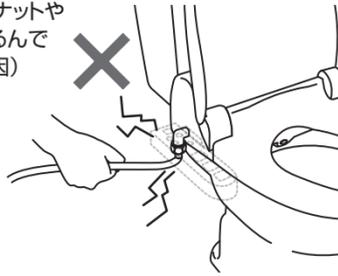
凍結予防の方法
→P.33・34

実行する

給水ホースを曲げたり、つぶしたり、
刃物などで傷つけたりしない
(水漏れの原因)



給水ホースを引っぱったり
無理な力を加えない
(分岐金具のナットや
接続部がゆるんで
水漏れの原因)



禁止

⚠ 注意

ケガなどのおそれ

便座・便ふたを持って
本体を持ち上げない
(ケガをする原因)



- 便ふたに寄りかからない
- 乗ったり強い衝撃を加えない

(転倒したり割れてケガをする原因)



操作部を手をつけて
座ったり立ち上がるなど
強い衝撃を加えない
(破損によりケガをする原因)



便座・便ふたを
勢いよく閉じない
(破損によりケガをする原因)



本体がガタついた状態で使用しない
(転倒してケガをする原因)

禁止

おしり・ビデ洗浄は長時間使用しない
長時間の洗浄に注意してください。
常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩
れる可能性があります。
局所の治療・医療行為を受けている方は、ご使用前
に医師に相談してください。

長時間の洗浄防止のために、おしり・ビデ洗浄は
約2分で自動停止します。

禁止

感電のおそれ

落雷のおそれがあるときは
電源プラグを抜く
(火災・感電の原因)



実行する

長期間使用しないときは…

長期間使用しないときは、
電源プラグを抜き、止水栓を閉め、
水抜きをする
(火災・発熱の原因)
(ホースや本体内部に残った水が
腐敗して皮膚の炎症などの原因)

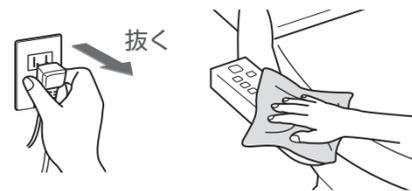


実行する

水抜きの方法 →P.33

お掃除のときは…

お掃除のときは電源プラグを抜く
(火災・発熱の原因)



実行する

ノズルのお手入れの際には電源プラグを
差したままで行ってください。

お掃除のときは
酸性やアルカリ性の洗剤を使用しない
(便座本体や、内部の金属部分などを腐食させたり
故障の原因)



禁止

酸・アルカリ性
洗剤

研磨剤入り
洗剤

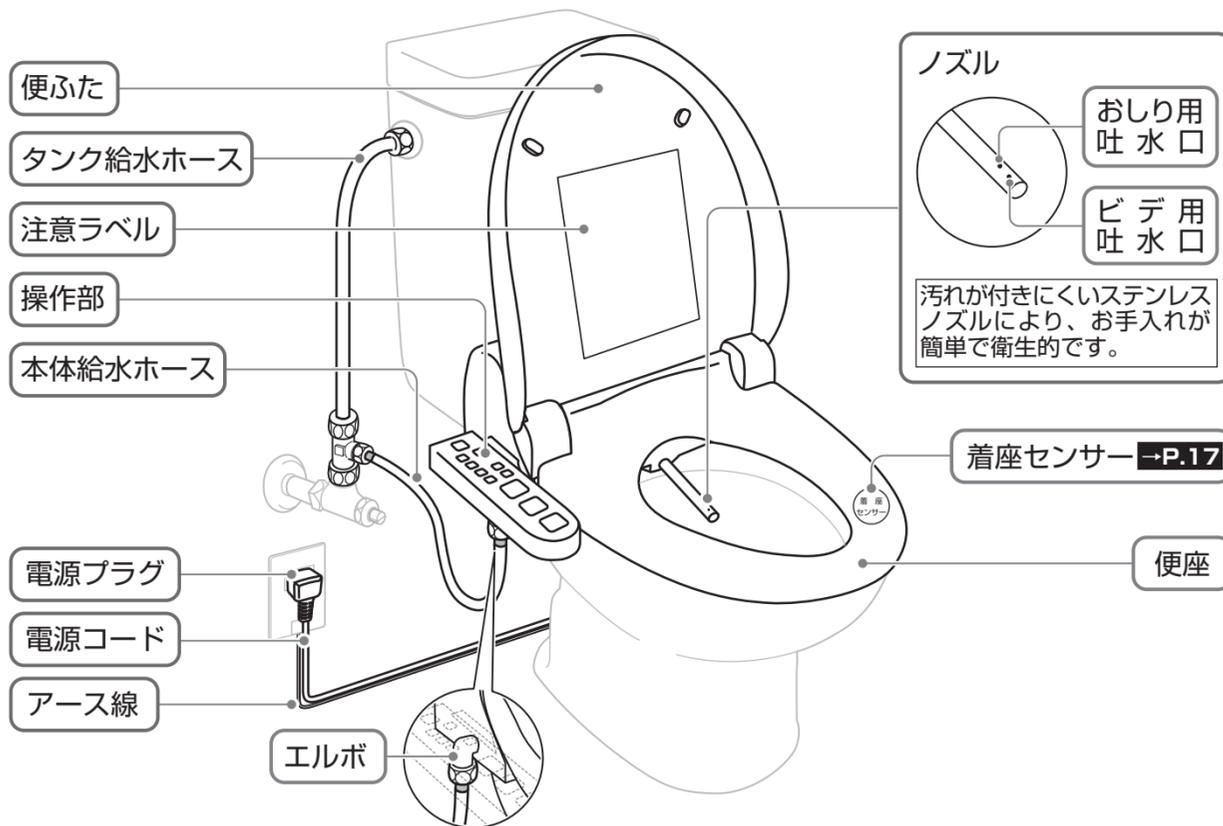
ベンジン
シンナー

業務用洗剤

安全上のご注意

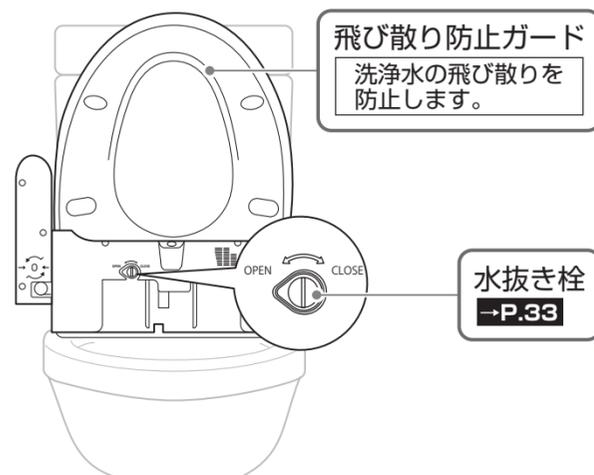
各部の名称

本体（漏電遮断機能付）

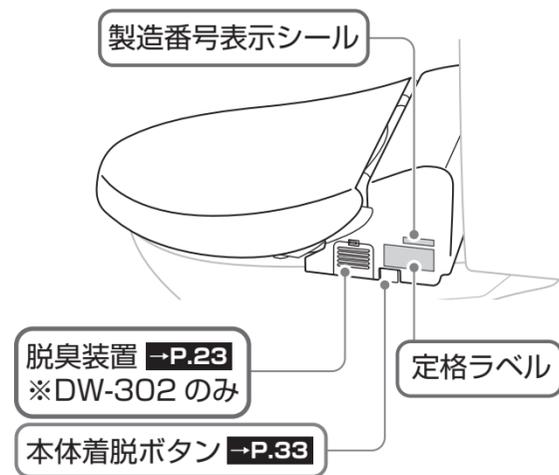


各部の名称

本体裏面

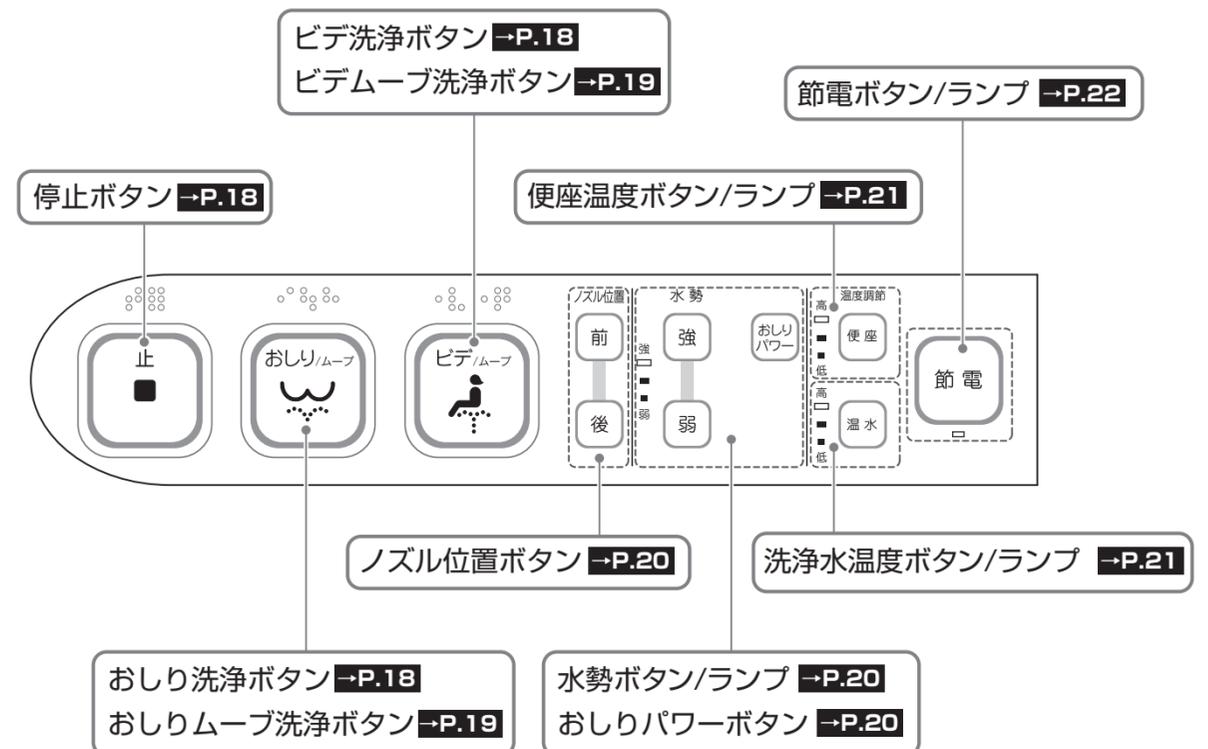


本体（座って左手側）



操作部

- 着座した状態で操作してください。→P.17
(着座センサーに肌が触れて感知している状態)
- 目の不自由な方にも快適にご使用いただけるよう点字を設けています。



各部の名称

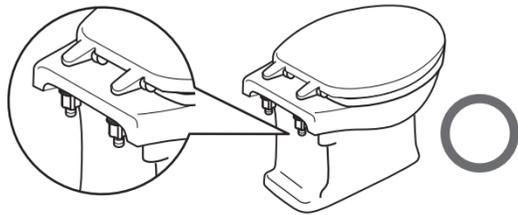
取付方法（施工説明書）

施工前の確認

取付け可能な便器の確認

取付け可能な便器

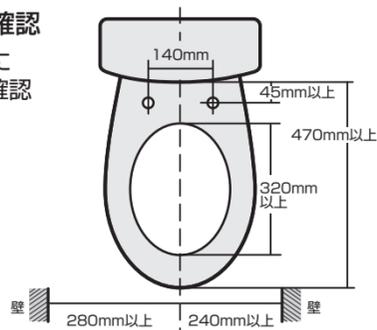
- 下からナット締めができる便器



※小型便器・特殊便器など一部の便器には取付けられない場合があります。

- 便器サイズの確認

※右図のサイズに適合するかご確認ください。



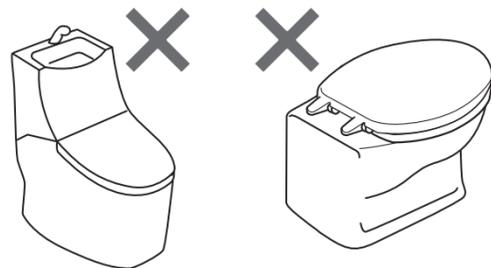
- コンセント位置の確認

※電源コードの長さは1.2mです。コンセントがこの長さに適した位置に設置してあるかご確認ください。



取り付けられない便器

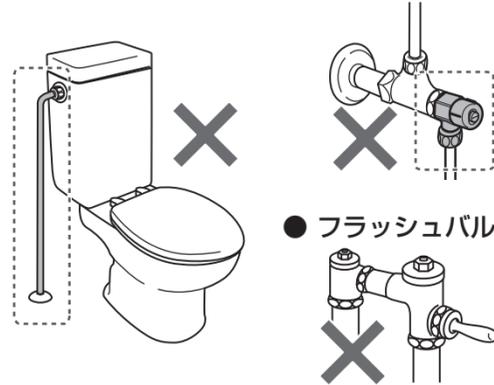
- 便座一体型便器
- 下からナット締めができない便器



※便器の交換が必要です。

下記の場合は専門業者に工事を依頼してください

- 止水栓がない
- 下記タイプの止水栓



- フラッシュバルブ

準備する工具



施工前のご注意

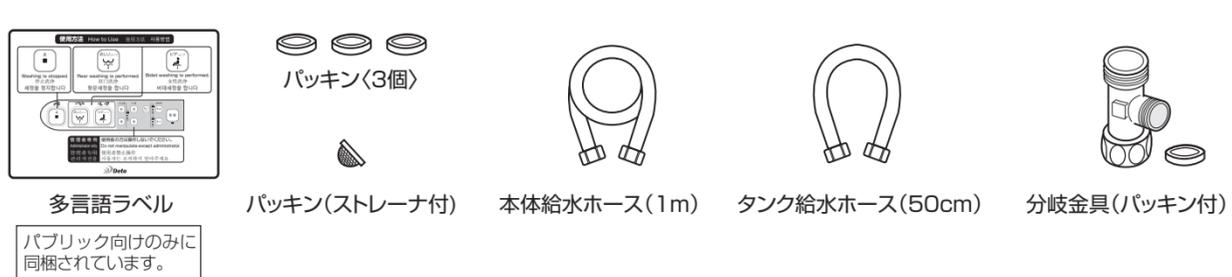
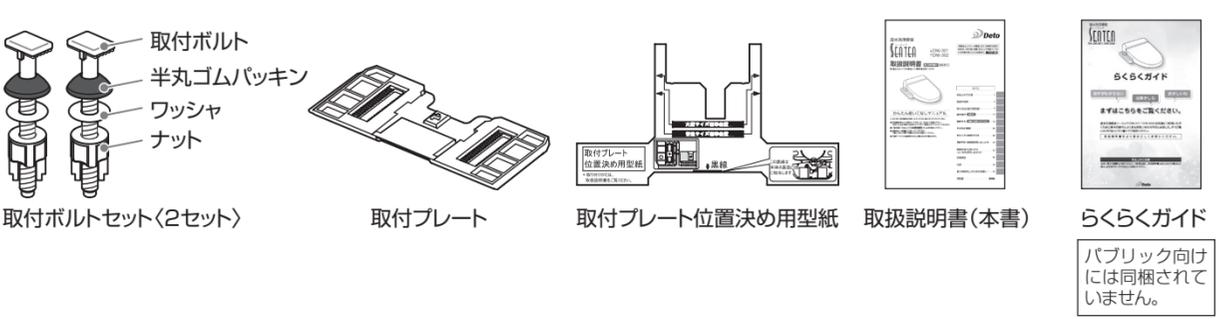
<p>水場使用禁止</p>	<p>バスルームや湿気の多い場所には設置しない (火災・感電の原因)</p>	
<p>禁止</p>	<p>取り付けが完了し、止水栓を開けるまで電源プラグを差し込まない (故障の原因)</p>	

⚠ 施工前に、安全上のご注意 →P.1~4 を必ずお読みください。

引越などによる移設の際には専門業者に依頼されることをおすすめします。販売元に相談してください。→裏表紙

- 必ず同梱の部品を使用してください。
- 使用圧力は 0.07 ~ 0.75MPa です。
- 製品内に水が残っている場合がありますが故障ではありません。※出荷前の通水検査によるものです。
- 厳寒時は、本体内の残水が凍結している場合があります。暖かい部屋に放置し、解凍してから設置してください。

同梱部品



取付方法(施工説明書)

取付方法(施工説明書)

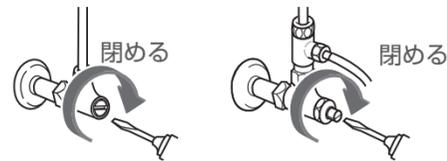
取付方法（施工説明書）

1 止水栓を閉める

1 止水栓を閉める

〔例〕

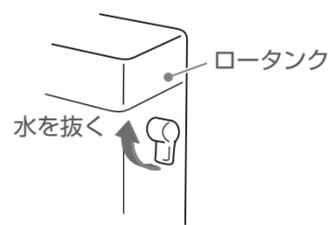
〈マイナス溝タイプ〉



〈ハンドルタイプ〉



※ロータンクの水を抜き、止水していることを確認してください。ロータンクに給水される場合は、止水栓を閉め直してください。

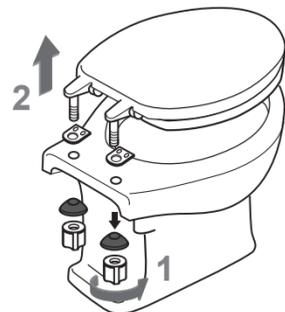


2 便座を取り外す

下のように、便座を取り外してください。

普通便座の場合

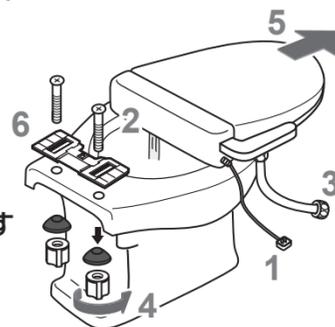
- 1 ナットを緩める
- 2 便座を取り外す



温水洗浄便座・暖房便座の場合

- 1 電源プラグを抜く
- 2 水抜きをする
- 3 本体給水ホースを取り外す
- 4 ナットを緩める
- 5 便座を取り外す
- 6 固定プレートを取り外す

※既設の温水洗浄便座・暖房便座の施工説明書に従い取り外してください。

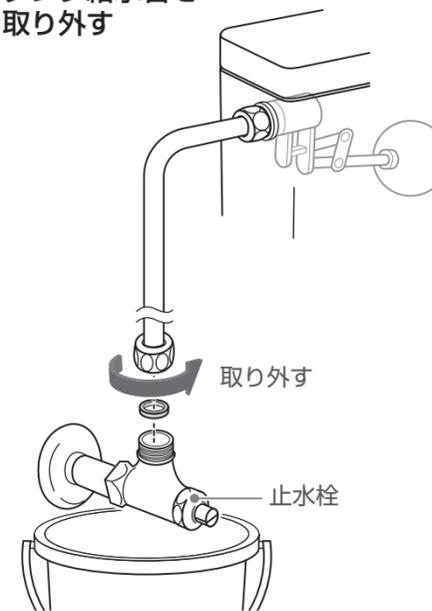


ナットがさびて緩まないときは
 ●市販のねじ緩め剤などで緩める
 ●取れないときは、金のかみでボルトを切断する

3 給水管・分岐金具を取り外す

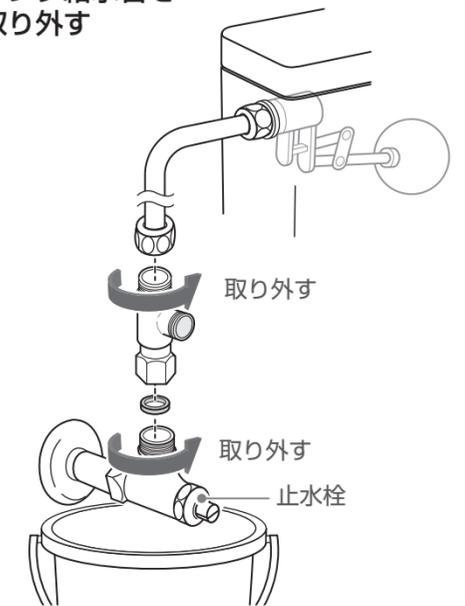
初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

- 1 止水栓からタンク給水管を取り外す



既設の温水洗浄便座から取り替える場合

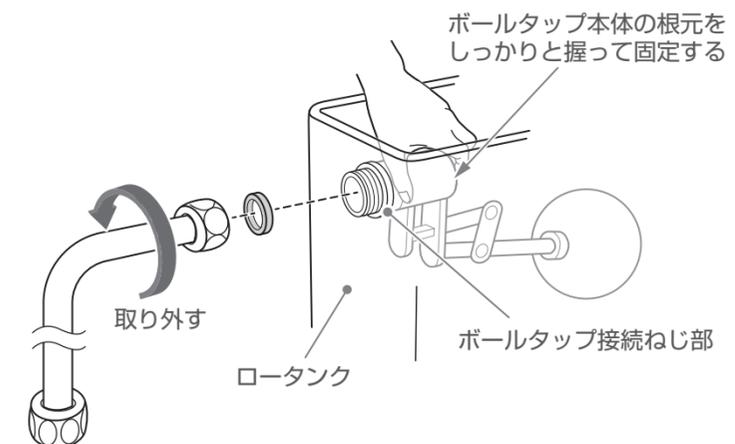
- 1 止水栓から分岐金具とタンク給水管を取り外す



給水管などに水が残っていることがありますので、止水栓の下にバケツなどの容器を置いてください。

- 2 ロータンクからタンク給水管を取り外す

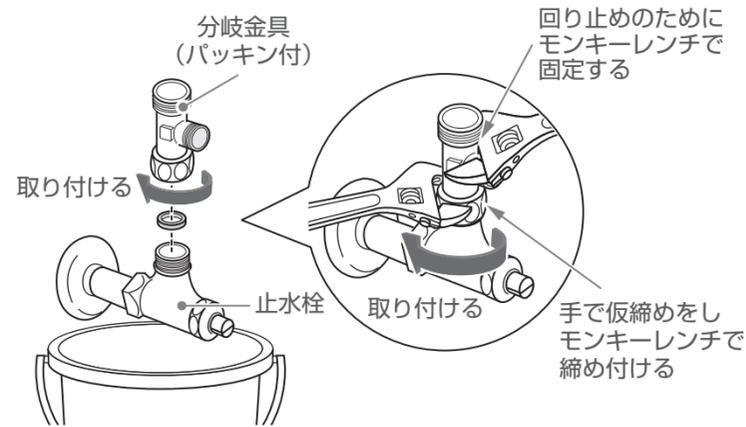
※ロータンクのフタを開け、ボールタップ接続ねじ部は回さないように、内部のボールタップ本体の根元をしっかりと握って行ってください。



取付方法（施工説明書）

4 分岐金具・タンク給水ホースを取り付ける

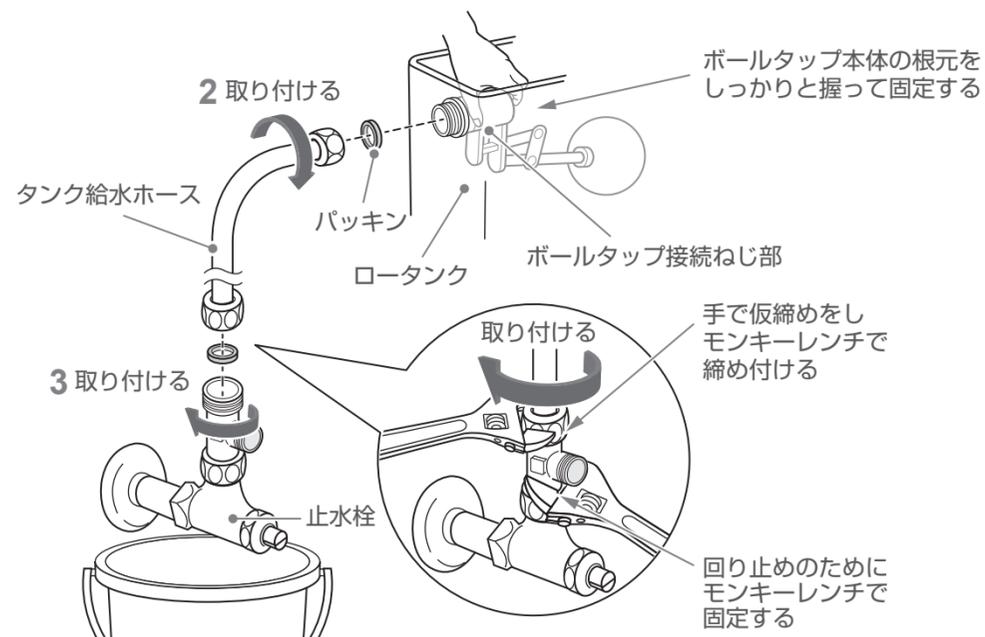
1 分岐金具を止水栓に取り付ける



2 タンク給水ホースをロータンクに取り付ける

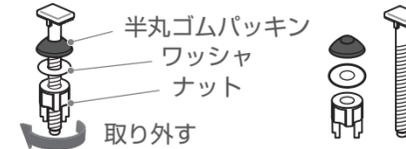
※ボールタップ接続ねじ部は回さないように、内部のボールタップ本体の根元をしっかりと握って行ってください。

3 タンク給水ホースを分岐金具に取り付ける



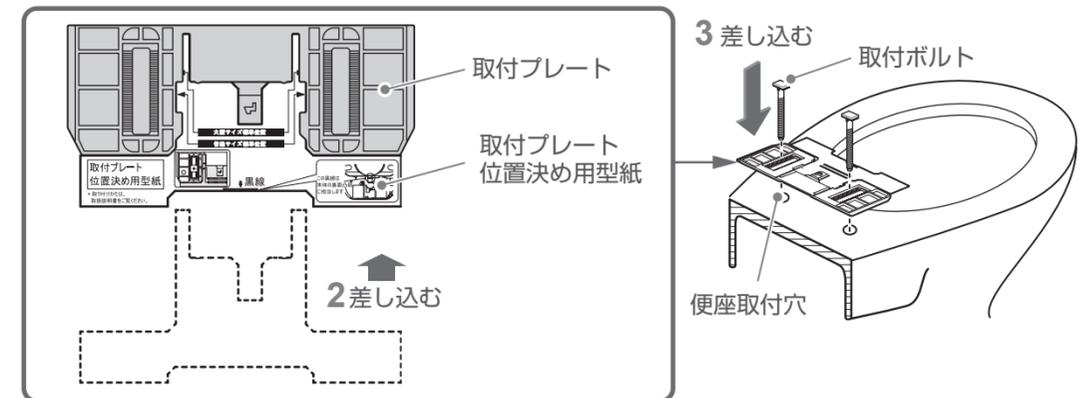
5 本体を取り付ける

1 取付ボルトから半丸ゴムパッキン・ワッシャ・ナットを取り外す



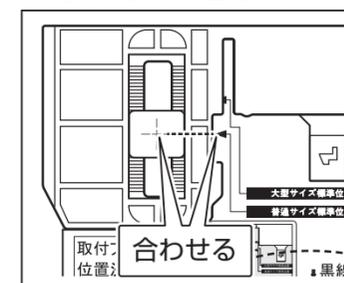
2 取付プレート位置決め用型紙を取付プレートに差し込む

3 便座取付穴に取付ボルトを差し込む

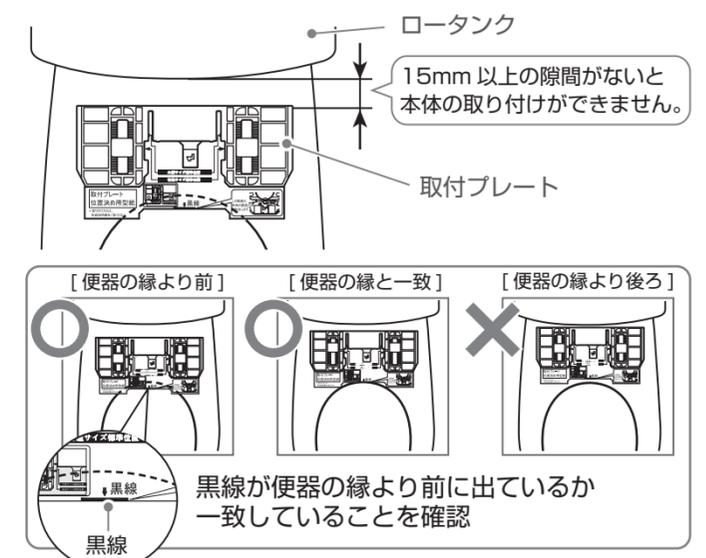


4 取り付け位置を決める

取付プレート位置決め用型紙の
普通サイズ標準位置と
取付ボルトの中心を合わせる



※大型サイズの便器の場合は
型紙の**大型サイズ標準位置**に
合わせる

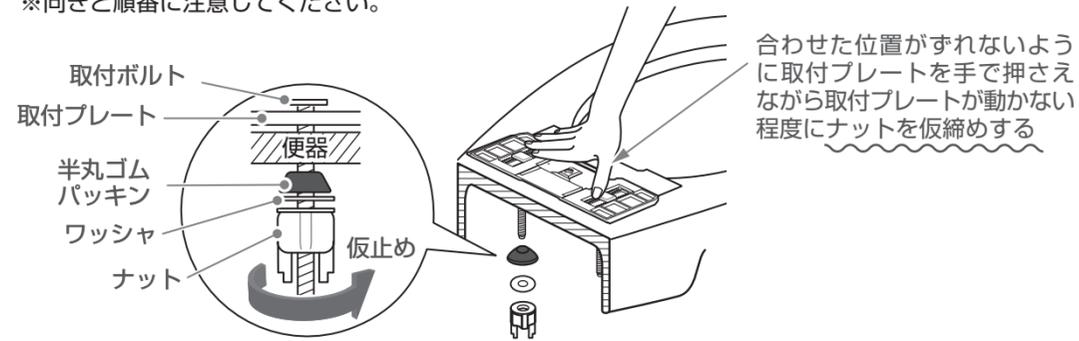


次のページへつづく →P.13

取付方法（施工説明書）

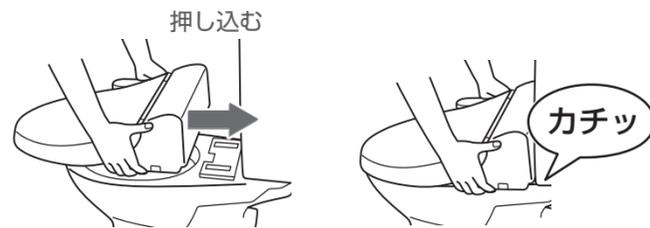
5 本体を取り付ける（つづき）

- 5 取付プレートを使器に仮止めする
※向きと順番に注意してください。

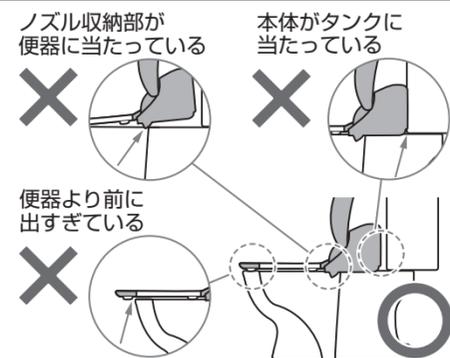


- 6 取付プレート位置決め用型紙を外す

- 7 本体をロータンクの方に「カチッ」と音がするまで押し込んで取り付ける
※電源コードを挟まないように注意してください。



下図の場合は、本体を使器から取り外し、取付プレートの位置を再度調整してください。



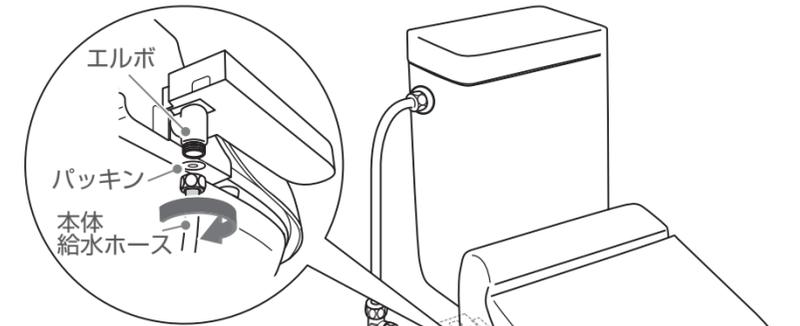
本体を使器から取り外す場合
本体右側の本体着脱ボタンを押したまま
本体を手前に引いて取り外してください。



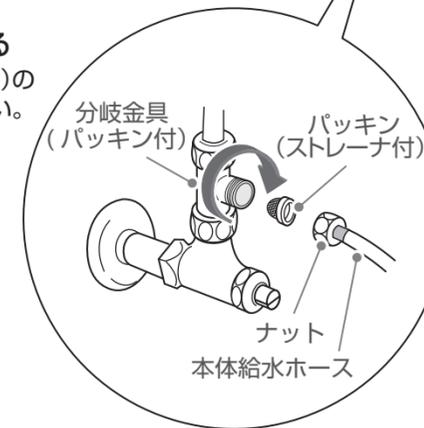
- 8 ナットを手でしっかり締め付ける
※モンキーレンチなどの工具を使用しないでください。

6 本体給水ホースを取り付ける

- 1 本体給水ホースをエルボに取り付ける
※エルボは樹脂製のため締めすぎないように注意してください。

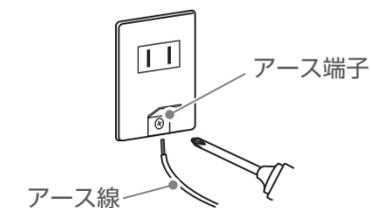


- 2 本体給水ホースを分岐金具に取り付ける
※パッキン(ストレーナ付)の向きに注意してください。

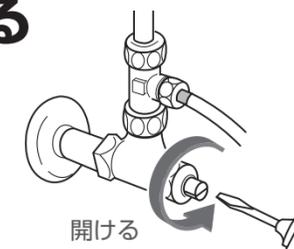


7 アース線の接続

※アース端子がない場合は、電気工事に相談してください。



8 止水栓を開ける

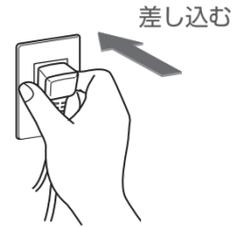


取付方法（施工説明書）

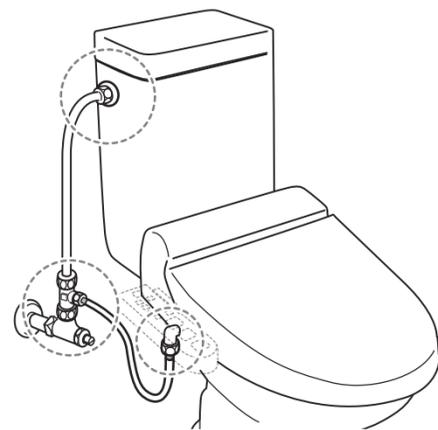
9 電源を入れる（自動給水）

電源プラグを差し込む

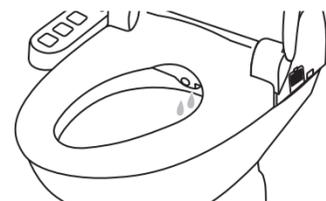
※「ピッピッピッ」と鳴り続け、便座本体への給水が始まります。
「ピー」と鳴り、給水が終わります。



10 水漏れの確認



- 水漏れがある場合は、再施工を行ってください。
- ノズル出口付近から漏れる水滴は温水タンク内の蒸気圧またはノズル内の残水によるもので故障ではありません。



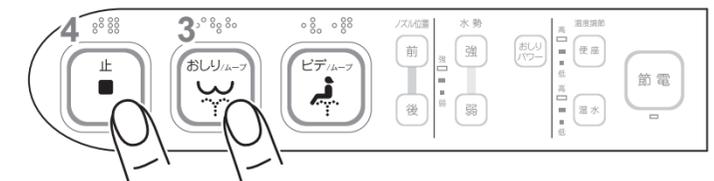
11 試運転

自動給水完了後、7分程度経ってから試運転を行ってください。

1 梱包用ビニールを便器と便座の間に挟む

2 着座センサーに手を触れる
● 便座が温かいことを確認する
● 自動脱臭が始まるか確認する **-P.23**
※小さなモーター音がします。
※DW-302のみ

3 着座センサーに手を触れながら **おしり/ムーフ** を押し
● 洗浄水が出ることを確認する
● 梱包用ビニールの上から手を当て洗浄水が温かいことを確認する



4 **止** を押し、梱包用ビニールを外す

セルフクリーニング機能により、おしり・ビデ洗浄前と停止後に水滴が落ちますが異常ではありません。

基本操作

洗浄する

1.座る

2.洗浄する

3.止める

4.退室

基本操作

基本操作

基本操作

座るとおしり洗浄・ビデ洗浄の操作ができます。
(着座センサーに肌が触れている状態)

- 操作部の水勢のランプが点灯します。
- 自動脱臭が作動します。※DW-302のみ

※使用中に着座センサーから肌が離れると操作できません。

便座カバーがついていたり、身体と着座センサーの間に衣類やトイレットペーパーなどが挟まっていると感知しません。



便座カバー



衣類・トイレットペーパーなど



座らなくてもできる操作

- ・節電
- ・ノズルクリーニング

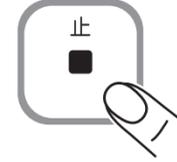
- 便座の温度を調節 →P.21

調節

- 自動脱臭について →P.23 ※DW-302のみ

自動機能

停止



ボタンを押すと
おしり・ビデ洗浄を
停止します。

おしり洗浄



ボタンを押すと
おしり洗浄を
始めます。

- ムーブ洗浄 →P.19

ビデ洗浄



ボタンを押すと
ビデ洗浄を
始めます。

- ムーブ洗浄 →P.19



- ノズル位置を調節 →P.20
- おしりパワー →P.20
- 洗浄の強さを調節 →P.20
- 洗浄水温度を調節 →P.21

- セルフクリーニング機能(洗浄前と停止後にノズルを自動で洗浄します。) →P.23
- 長時間洗浄防止のために、約2分後おしり・ビデ洗浄が自動停止します。 →P.4

- 便器の水を流し、便ふたを閉め、退室してください。

- 節電モード →P.22

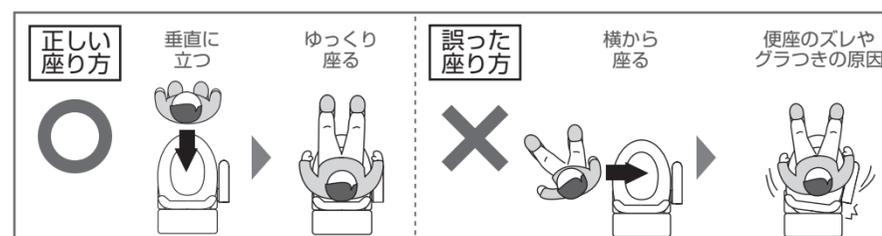
- 立ち上がると
・約5秒後に水勢ランプが消えます。
・約1分後に脱臭が停止します。
※DW-302のみ

お知らせ

<着座時のきしみ音について>

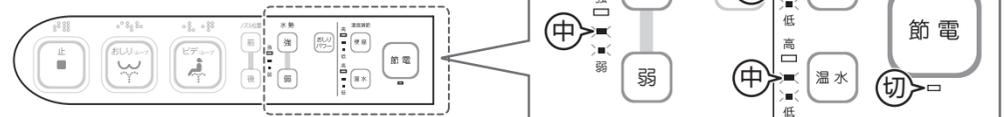
着座時のきしみ音は、便器の成形段階でできる若干の歪みなどが原因で、便座と便器の間にわずかな隙間ができ発生することがあります。異常ではありません。

<便座のズレやグラつきについて>

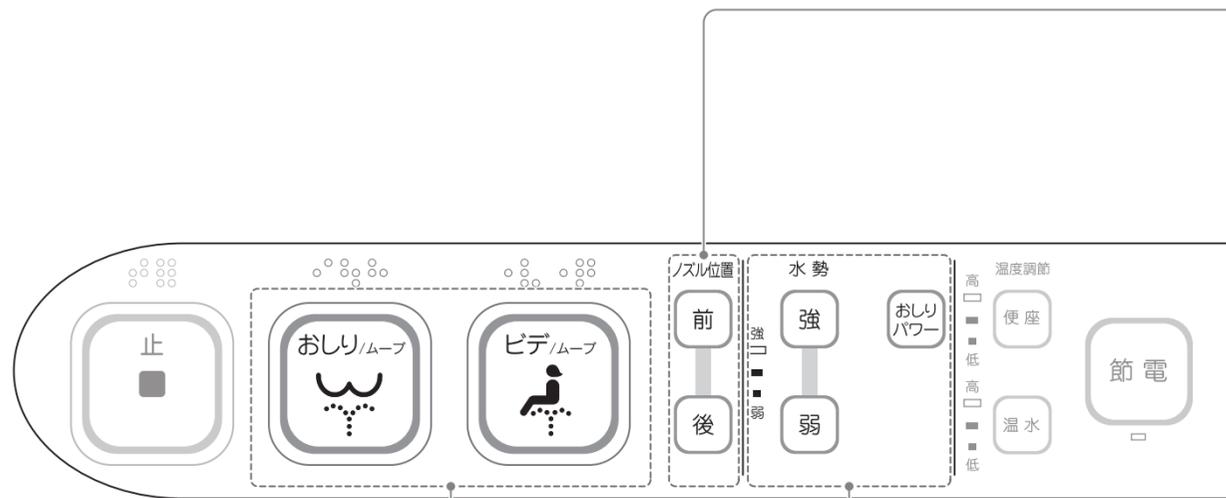


<電源プラグの抜き差し・停電時について>

電源プラグの抜き差し・停電時は、初期設定の状態に戻ります。再度お好みの設定をしてください。



調節する 快適にご利用いただくために



ノズルの位置を変更する ノズル位置

ノズル位置

前

後

おしりまたはビデ洗浄中に「前」または「後」を押すと、ノズルの位置が変わり、お好みの位置で洗浄ができます。

- 「前」「真ん中」「後ろ」の3段階です。
- 便座から立ち上がると、初期設定(真ん中)に戻ります。

ノズルが前後に動きお好みの位置で洗浄できます。

調節する

広範囲を洗浄する ムーブ洗浄

おしり洗浄中に「おしり/ムーブ」またはビデ洗浄中に「ビデ/ムーブ」を押すと、ムーブ洗浄になり、広範囲を洗浄できます。もう一度押すと戻ります。

おしり/ムーブ

おしり洗浄 ↔ おしりムーブ洗浄

ビデ/ムーブ

ビデ洗浄 ↔ ビデムーブ洗浄

ノズルが前後に動き広範囲を洗浄できます。

洗浄の強さを変更する 水勢

水勢

強

弱

おしりパワー

着座中に「強」または「弱」を押すごとに、洗浄の強さが変わり、お好みの強さに変更できます。※ランプ表示が切り替わります。

※省エネ基準達成のための設計により、以前の機種に比べて洗浄の勢いが弱く感じる場合や温水が早く冷たくなる場合があります。

強

おしりパワー

弱

洗浄の強さを変更できます。

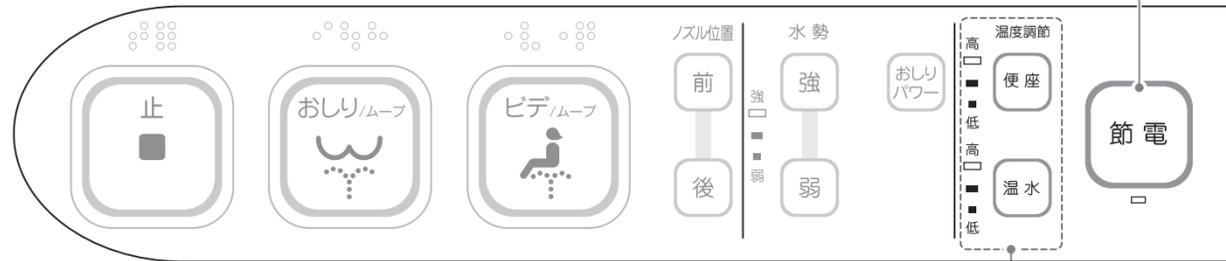
さらに強くしたい
おしり洗浄を「強」にしても弱く感じる場合は、「おしりパワー」を押してください。もう一度押すと戻ります。

- 「おしりパワー」は、おしり洗浄中でなくても使用できます。
- 「おしりパワー」は、ビデ洗浄では使用できません。

- タンク容量は0.7Lのため、おしり洗浄「強」で約50秒程度、おしりパワーで約40秒程度で水に変わります。 ※5～7分程度待つと再度温水を使用できます。

調節する

調節する 快適にご利用いただくために



節電をする 節電

節電 を押し、標準モードと節電モードに切り替わります。
※ランプ表示が切り替わります。

	標準モード	節電モード	スーパー節電モード
操作部	節電 ↑ 消灯	節電 ↑ 緑ランプ	3秒以上同時に長押し 止 + 節電 ↑ 赤ランプ スーパー節電解除 節電 を押し

状態	標準モード	節電モード	スーパー節電モード
座っていないとき	【温度調節】で設定した温度 温度調節 便座 温水	約30℃	常温 ヒーターが入っていない状態です。
座っているとき	「節電モード」や「スーパー節電モード」の場合、冷たく感じる場合があります。 ※「節電モード」または「スーパー節電モード」解除後「設定温度」になるまでは、最長7分ほどかかる場合があります。(室温などにより異なります。)		

上手な節電方法

便ふたを閉じる | 使用しないときは、便ふたを閉じておくと無駄な放熱を防ぎ節電になります。

便座/洗浄水の温度を変更する 温度調節

温度調節

高
■
低

便座

高
■
低

温水

便座温度

便座 を押しごとに、便座温度が変わり、お好みの温度に変更できます。
※ランプ表示が切り替わります。

※「切」や「低」の場合、冷たく感じる場合があります。

洗浄水温度

温水 を押しごとに、洗浄水温度が変わり、お好みの温度に変更できます。
※ランプ表示が切り替わります。

※「切」や「低」の場合、冷たく感じる場合があります。

便座と洗浄水の温度を変更できます。

その他の機能

自動脱臭機能 ※DW-302のみ

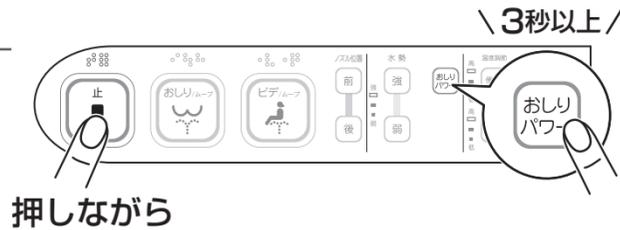
座る（着座センサーに肌が触れる）と脱臭が始まります。
※脱臭が始まると脱臭ファンが動く音がします。



自動脱臭機能の入切の方法

着座していない状態で

止 を押しながら おしりパワ を
3秒以上長押しすることで入切できます。



セルフクリーニング機能

いつも清潔に保つために、おしり・ビデ洗浄前と
停止後にノズルを自動で洗浄します。

- この水は身体に触れません。
- セルフクリーニング機能により、おしり・ビデ洗浄前と停止後に水滴が落ちますが異常ではありません。



漏電遮断機能

安全のため、漏電を検知すると自動的に電源が切れます。

〔漏電検知時〕

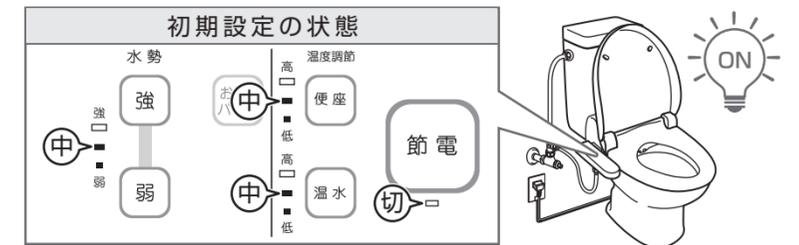
① 電源プラグを抜く



② しばらく時間を置いて
再度電源プラグを差し込む



〔復旧時〕



※復旧すると、初期設定の状態に戻ります。再度お好みの設定をしてください。

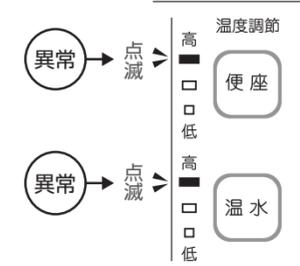
復旧しない場合は、販売元に連絡してください。→裏表紙

自己診断機能

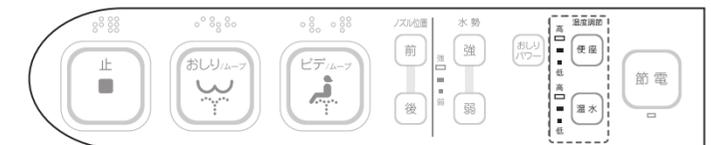
操作部の便座または温水のランプが点滅している場合は製品に異常が発生しています。

電源プラグを抜き差しすると、復旧する場合があります。

① 電源プラグを抜き、再度差し込む



② 点滅が消えたことを確認する

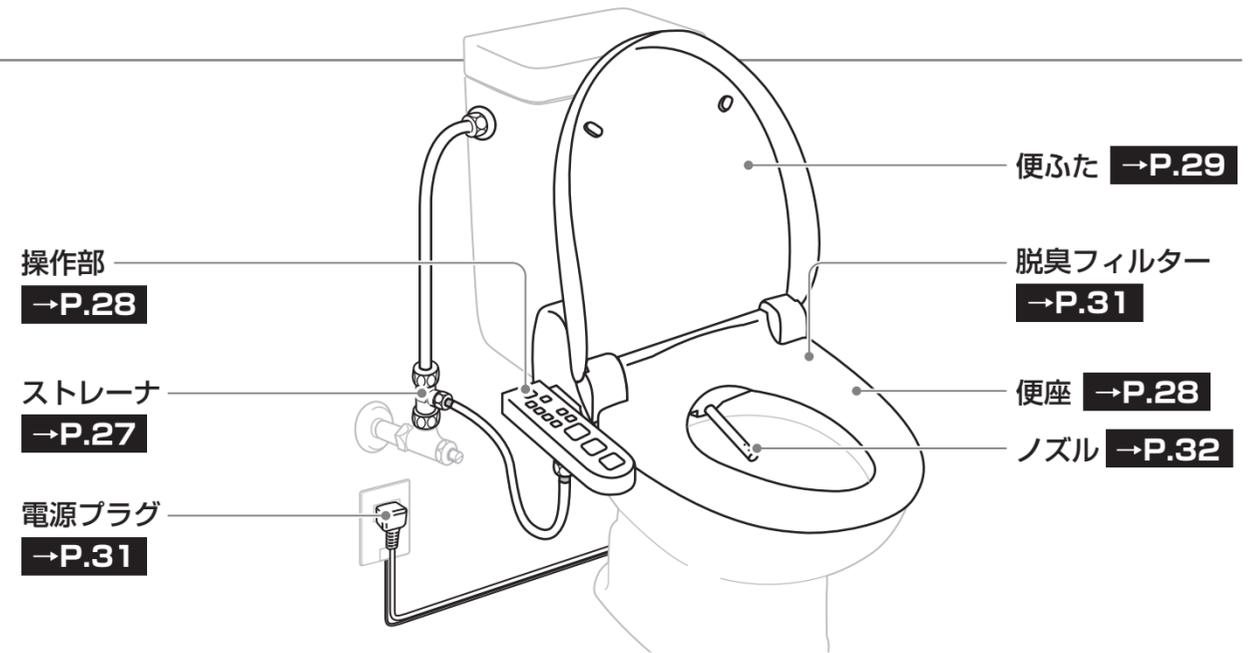


点滅が続く場合は、点滅位置をご確認いただき販売元に連絡してください。→裏表紙

お手入れ・掃除の方法

快適に使用するために、日頃から定期的なお手入れをしてください。

気になる汚れ・症状	お手入れ・掃除する箇所	ページ
おしり・ビデ洗浄の勢いが弱くなった	ストレーナ	27
	ノズル	32
便ふたや便座と便器の隙間の汚れが気になる	便座	28
	便ふた	29
ニオイが取れにくい・異臭がする ※DW-302のみ	脱臭フィルター	31
洗浄水が斜めに出るようになった	ノズル	32



お手入れのときに ご注意いただくこと

安全のため、電源プラグを抜いてください

お手入れの際や本体を立てる時は必ず電源プラグを抜く
(感電・火災・誤作動による故障の原因)

実行する

[本体裏面]

- ノズルのお手入れの際には、電源プラグは差したままで行ってください。
- お手入れ完了後は、電源プラグの差し忘れに注意してください。(電源プラグを差すと初期設定の状態に戻ります。P.18)

禁止

電源プラグの抜き差しは、濡れた手でしない
(感電の原因)

便座本体や電源プラグに水や洗剤をかけない
(感電・ショートによる火災の原因)

禁止

隙間のお手入れの際には針金などの金属を使用しない
(感電・ショートによる火災の原因)

禁止

[本体裏面]

便座本体内部や、便器との隙間などに水や洗剤が残らないように注意する
(プラスチックを傷めたり、故障の原因)

実行する

お掃除のときは酸性やアルカリ性の洗剤を使用しない
(便座本体や、内部の金属部分などを腐食させたり故障の原因)

禁止

酸・アルカリ性洗剤 研磨剤入り洗剤 ベンジンシンナー 業務用洗剤

市販のトイレ用そうじシートの中には適さない商品もあります。

プラスチック部品には、トイレットペーパーや乾いた布などを使用しない
(キズつきの原因)

禁止

トイレットペーパー 乾いた布

便器のお手入れにつきまして

禁止

- お手入れ中は、便座・便ふたは閉じない
- つけ置き洗いはしない

● 便器のお手入れの際に使用される洗剤は、便座本体にかからないように注意してください。

● 便器に残っている洗剤から出る揮発性ガスにより、便座本体内の金属部分を傷めることがあります。

[断面図]

揮発性ガス

短時間(3分程度)で手早くお手入れをしてください。

お手入れ・掃除の方法

ストレーナのお手入れ おしり・ビデ洗浄の勢いが弱くなったら

ストレーナにゴミなどが付着して詰まっていると洗浄の勢いが弱くなります。

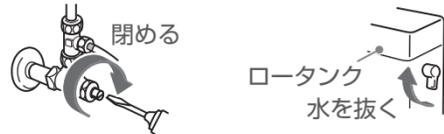
ストレーナは本体側と分岐金具側の2か所についています。



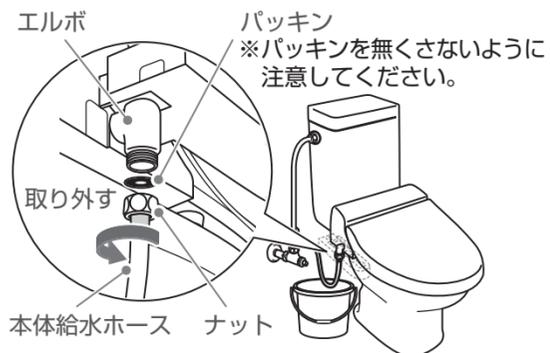
1 電源プラグを抜く



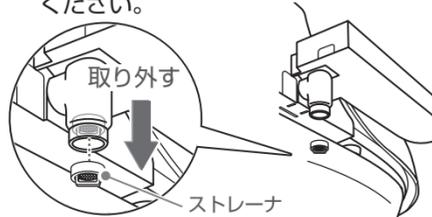
2 止水栓を閉める
 ※ロータンクの水を抜き止水していることを確認してください。ロータンクに給水される場合は、止水栓を閉め直してください。



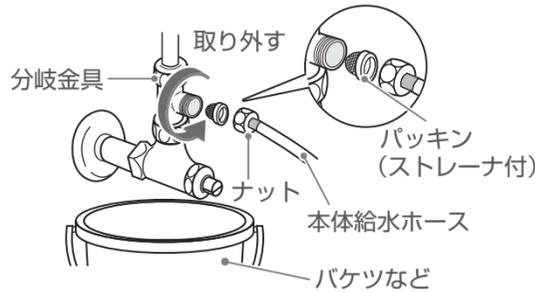
3 本体側のストレーナを取り外す
 ① 本体側のナットを回し、本体給水ホースを取り外す
 ※水が残っていることがありますので、エルボの下にバケツなどの容器を置いてください。



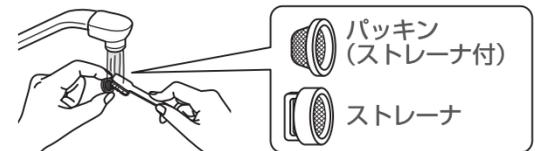
② エルボからストレーナを取り外す
 ※ エルボの中にストレーナが入っています。取り外しにくい場合はペンチなどで取り外してください。



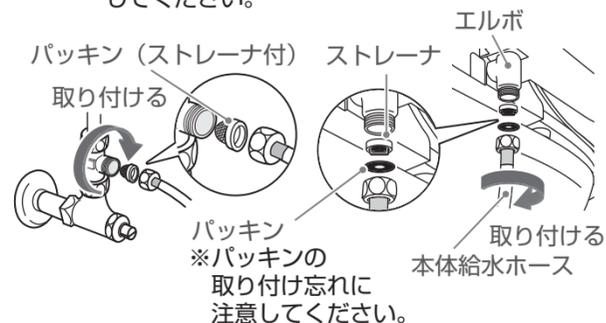
4 分岐金具側のナットを回し、本体給水ホースとストレーナを取り外す
 ※水が残っていることがありますので、止水栓の下にバケツなどの容器を置いてください。



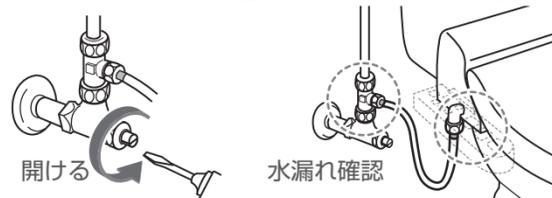
5 水洗いしながら歯ブラシなどで掃除をする



6 ストレーナーと本体給水ホースを取り付ける
 ※パッキン(ストレーナ付)、ストレーナの取り付け位置や向きに注意してください。
 ※エルボは樹脂製のため、締めすぎないように注意してください。

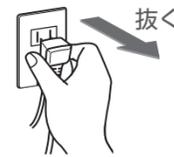


7 止水栓を開け、水漏れを確認する
 ※水漏れがある場合は、取り付け直してください。



本体(表面)・操作部のお手入れ 日常のお手入れ

1 電源プラグを抜く



2 柔らかい布を水で濡らし、よく絞って汚れを拭き取る
 水拭きは汚れの原因となる静電気を防ぎます。



製品出荷時には操作部に保護ビニールが貼ってあります。はがしてご使用ください。

[汚れがひどいとき]

家庭用中性洗剤を薄めて柔らかい布にふくませて汚れを拭き取り、水拭きしてください。



禁止
 操作部に手をつけて立ち上がるなど強い衝撃を加えない
 (破損によりケガをする原因)
 電源プラグのお手入れには濡れた布を使用しない
 (感電の原因)

お手入れ・掃除の方法

便ふたと便座の隙間のお手入れ

週1回のお手入れ

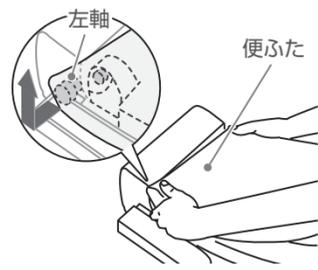
便ふたを取り外してお手入れができます。

1 電源プラグを抜く

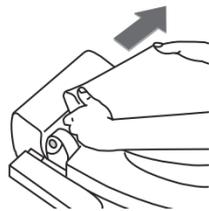


2 便ふたを取り外す

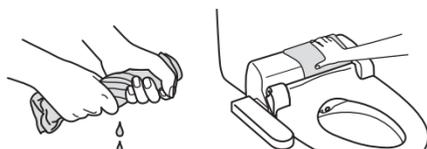
- ① 左側を広げて左軸を外す
※便ふたが少し開いた状態で広げると簡単に外せます。



- ② 右側へ外す

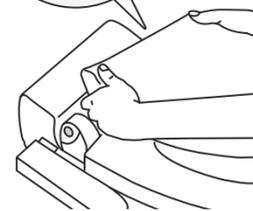
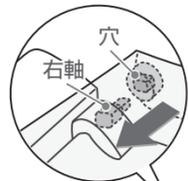


3 柔らかい布を水で濡らし、よく絞って汚れを拭き取る

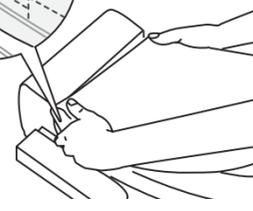
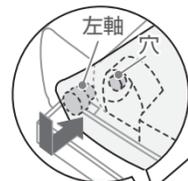


4 便ふたを取り付ける

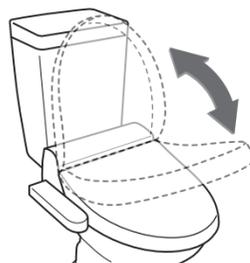
- ① 右軸を穴に差し込む



- ② 左側を広げ左軸を穴に差し込む



- ③ 開閉がスムーズか確認する



本体(裏面)のお手入れ

週1回のお手入れ

本体を取り外して便器との隙間や本体裏面をお手入れできます。

1 電源プラグを抜く



2 止水栓を閉める



3 本体着脱ボタンを押したまま本体を手前に引いて取り外す

- ※給水ホースなどに無理な力を加えないように注意してください。



押したまま



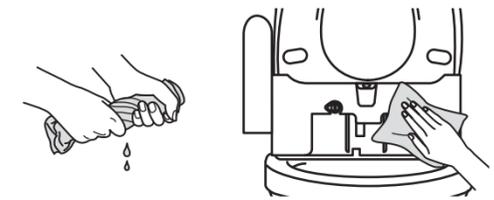
手前に引いて取り外す

4 本体裏面が手前になるようにして立てる



[本体裏面]

5 柔らかい布を水で濡らし、よく絞って汚れを拭き取る



6 本体を取り付ける

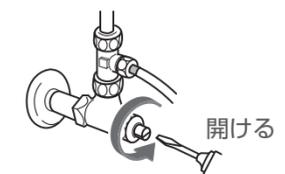


押し込む



カチッ

7 止水栓を開ける



開ける

お手入れ・掃除の方法

電源プラグのお手入れ

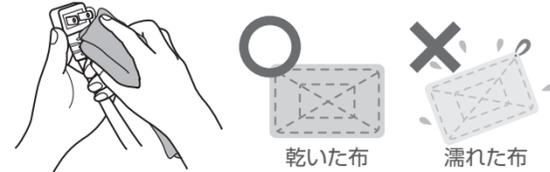
月1回のお手入れ

電源プラグにたまったほこりと湿気により、微小電流が流れ、そのまま使用し続けるとショートし発火することがあります。※トラッキング現象

1 電源プラグを抜く



2 乾いた布で電源プラグを掃除する



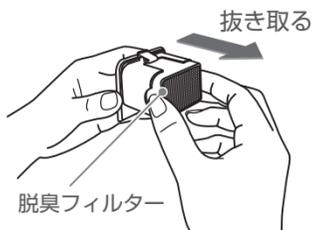
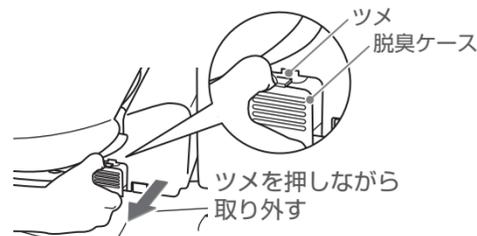
脱臭フィルターのお手入れ ※DW-302のみ 月1回のお手入れ

脱臭フィルターにほこりが溜まると、脱臭効果が弱まります。

1 電源プラグを抜く

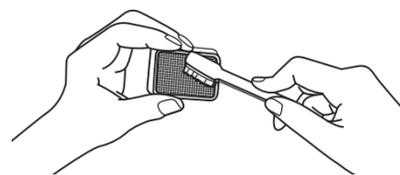


2 脱臭ケースを取り外し 脱臭フィルターを抜き取る

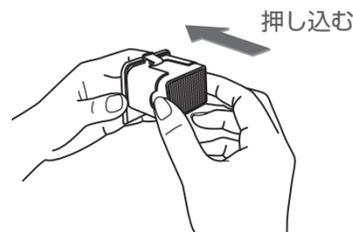


3 歯ブラシなどで掃除をする

※脱臭フィルターは濡らさないでください。



4 脱臭フィルターを脱臭ケースに押し込む



5 脱臭ケースを取り付ける

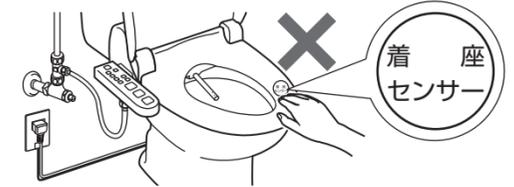


ノズルのお手入れ

月1回のお手入れ

ノズルの吐水口が汚れなどで詰まっていると洗淨水が斜めに出たり、水の勢いが弱くなります。

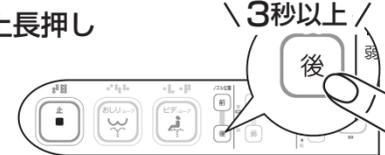
- 電源プラグは差したまま作業してください。
- お手入れ中は着座センサーに触れないでください。



ノズル自動洗浄

自動でノズルを洗淨する便利なお手入れ機能

後 を3秒以上長押し

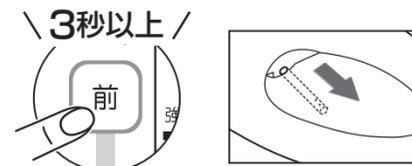


水を出しながらノズルの出し入れを5回繰り返し停止します。

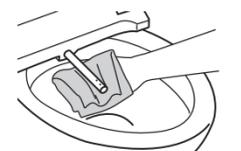
汚れが気になる場合

1 前 を3秒以上「ピッ」と音がするまで長押し

→ノズルが出てくる



2 柔らかい布や歯ブラシなどで掃除をする



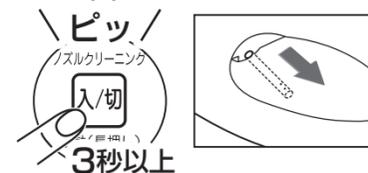
3 止 を押す

※ノズルは3分経過すると自動で戻ります。

ノズルの交換方法 交換用ノズルは別売りです。Detoコールセンターへ連絡してください。 →P.38

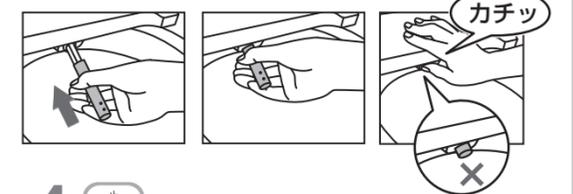
1 前 を3秒以上「ピッ」と音がするまで長押し

→ノズルが出てくる



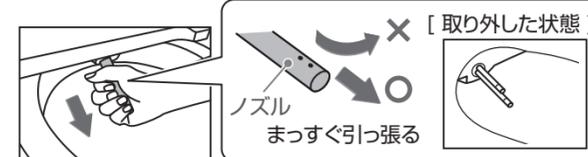
3 新しいノズルをまっすぐ差し込む

※カチッと音がして止まるまで押し込む



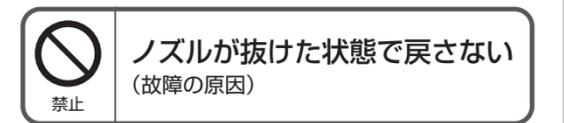
2 ノズルをまっすぐ引っ張り取り外す

※斜めに引っ張ると折れたり故障の原因になります。



4 止 を押す

※ を押さないと次回使用時に正常に動作しません。

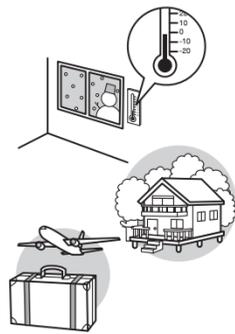


凍結予防・長期間使用しないとき

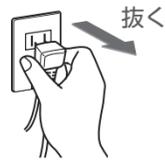
水抜きの方法

水抜きが必要なとき

- 冬期などの冷え込みで配管や本体内部の水が凍結するようとき
(配管や本体内部が破損して水漏れの原因)
- 旅行などで長期間使用しないとき
- 別荘などで長期間使用しないとき
(水の汚れによる詰まりの原因)
(水が腐敗して皮膚の炎症などの原因)



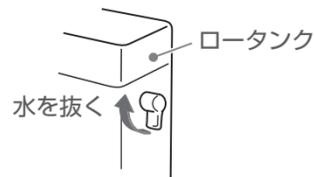
1 電源プラグを抜く



2 止水栓を閉める



3 ロータンクの水を抜く



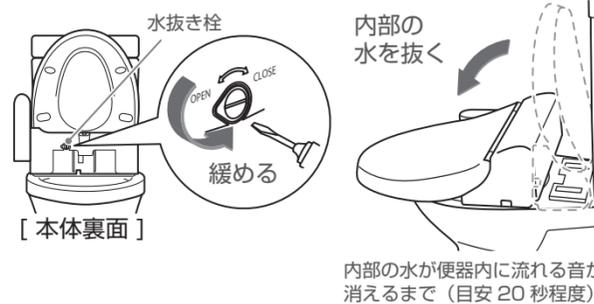
4 本体着脱ボタンを押したまま本体を手前に引いて取り外す

※本体給水ホースなどに無理な力を加えないように注意してください。



5 本体裏面にある水抜き栓を左に90度回して緩め、内部の水を完全に抜く

※コインやマイナスドライバーを使用してください。



6 水抜き栓を右に90度回して閉める



7 本体をロータンクの方向に「カチッ」と音がするまで押し込んで取り付ける

※電源コードを挟まないように注意してください。



[再開(再通水)させるとき]

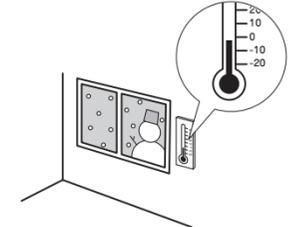
止水栓を開け、電源を入れる →P.14・15

凍結予防の方法

凍結予防が必要なとき

- 冬期などの冷え込みで、配管や本体内部の水が凍結するようとき
(配管や本体内部が破損して水漏れの原因)

※寒冷地の場合は「水抜き」→P.33 をしてください。



電源を入れておく

※温水タンクの保温機能で凍結予防になります。



トイレ室内を暖める

※暖房器具の注意書きに従ってご使用ください。



給水配管を布などで覆って保温する



[凍結して水が出ないとき]

室内を暖めて自然解凍をお待ちください。

- 給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
- 解凍中はこまめに様子をうかがってください。
(凍結部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります)



故障かな?と思ったら(よくあるお問 合わせ)

故障したままでは使用しない
(火災・感電・ケガ・室内浸水の原因)

● 異常・故障時には電源プラグを抜き、止水栓を閉め、直ちに使用を中止する
下記項目に当てはまる場合は、すぐに販売元に連絡してください。

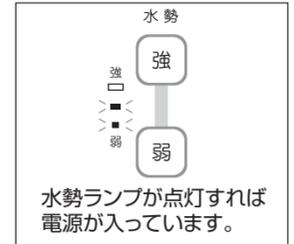
配管接続部や本体内部で水漏れしている・本体にひび割れや破損がある・異音(脱臭ファンや作動時の音を除く)や異臭(こげ臭)がする・電源プラグや電源コードが異常に熱くなっている・電源コードを動かすと、電源が切れたり、入ったりする・発煙しているなど

修理を依頼される前に、ご確認ください。

処置しても直らない場合や記載以外の症状は 販売元に相談してください。→裏表紙

最初に本体の電源が入っていることをご確認ください。

- ①コンセントに電源プラグが差さっていることを確認する
- ②操作部の「停止」を押す



故障かな?と思ったら(よくあるお問合わせ)

おしり・ビデ洗浄

症 状	ご確認ください	
おしり・ビデ洗浄が使えない (ノズルが出ない)	<p>●着座センサーに肌が触れていないと使えません。 便座カバーがついていたり、身体と着座センサーの間に衣類やトイレットペーパーなどが挟まっていると感知しません。</p>	
温水の温度が低い (冷たい)	<ul style="list-style-type: none"> ●設定温度により、冷たく感じる場合があります。 ●節電モードまたはスーパー節電モードになっていると冷たく感じる場合があります。 	21ページ 22ページ
以前使用していたものより洗浄の勢いが弱い	<ul style="list-style-type: none"> ●省エネ基準達成のための設計により、以前の機種に比べて洗浄の勢いが弱く感じる場合があります。 ●おしりパワーを使用してください。 	- 20ページ
設定が勝手に変わる	●電源プラグの抜き差し・停電時は、初期設定の状態に戻ります。	18ページ
洗浄の勢いが設定ができない	●着座センサーに肌が触れていないと設定できません。	17ページ
洗浄中に温水が水になる (ぬるくなる)	●水勢の設定によって、タンク内の温水が早く冷たくなります。5~7分程度待つと再度温水を使用できます。	20ページ
ノズル付近から水滴が落ちる	<ul style="list-style-type: none"> ●ノズル出口付近から漏れる水滴は温水タンク内の蒸気圧またはノズル内の残水によるもので故障ではありません。 ●セルフクリーニング機能により、おしり・ビデ洗浄前と停止後に水滴が落ちますが異常ではありません。 	15ページ 23ページ
使い始めたときより洗浄の勢いが弱くなった	<ul style="list-style-type: none"> ●ノズルの吐水口が詰まっていますか。 ●ストレーナにゴミなどが付着して詰まっていますか。 	32ページ 27ページ

症 状	ご確認ください		
脱臭	脱臭ファンが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●自動脱臭機能が切れていないかご確認ください。 ●自動脱臭機能は型式 DW-302 のみの機能です。 	23ページ 5ページ
便座	便座の温度が低い (冷たい)	<ul style="list-style-type: none"> ●設定温度により、冷たく感じる場合があります。 ●節電モードまたはスーパー節電モードになっていると冷たく感じる場合があります。 	21ページ 22ページ
	座った時に便座からきしみ音がする	●きしみ音は、便器の成形段階でできる若干の歪みなどが原因で、便座と便器の間にわずかな隙間ができて発生することがあります。異常ではありません。	17ページ
	便座がグラつく	<ul style="list-style-type: none"> ●本体をワンタッチで着脱するために設けた隙間により、若干のグラつきを感じる場合があります。(設計仕様であり異常ではありません。) ●本体の取付プレートの取付ボルトが緩んでいないか確認してください。 ●便座に対し横から座ると便座がズレたり、グラつきの原因となります。 ●本体の取付プレートには滑り止めがついていますが、便器に特殊な表面コーティング加工がされていると滑る場合があります。 ●ロータンクのタイプにより、取付プレートの設置面積が狭いことでグラつきを感じる場合があります。 	- 12・13ページ 17ページ - -
その他	すべての機能(操作)が使用できない	<ul style="list-style-type: none"> ●操作部の「便座」または「温水」のランプが点滅していないか確認してください。 ●漏電していると漏電遮断装置が動き、すべての機能が使用できません。 	24ページ 24ページ
	水漏れがする	<ul style="list-style-type: none"> ●給水ホースの接続部がしっかり締まっているか確認してください。 ●水抜き栓がしっかり閉まっているか確認してください。 	14ページ 3ページ
	電源を切りたい	●電源プラグを抜いてください。	-

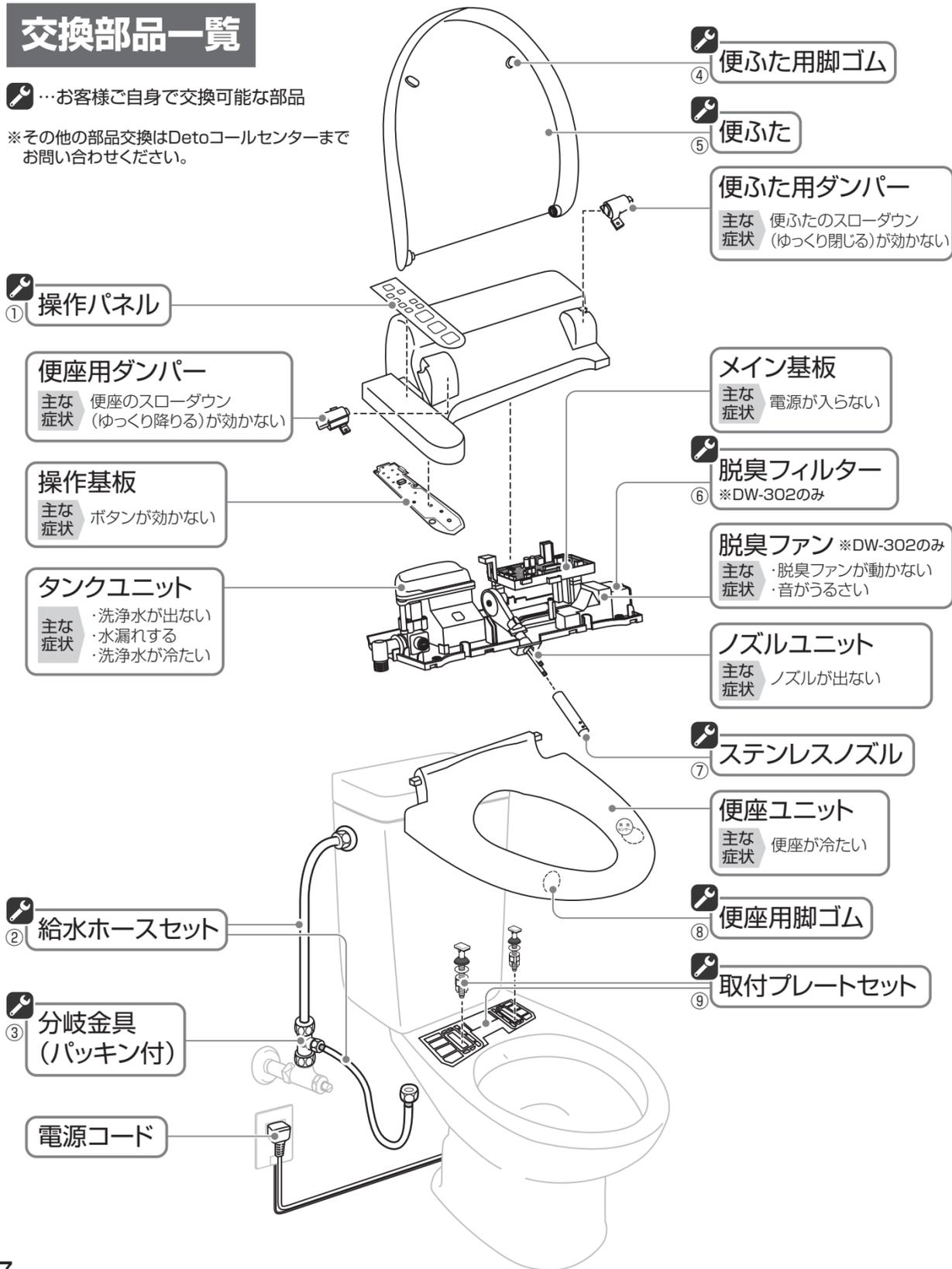
故障かな?と思ったら(よくあるお問合わせ)

交換部品

交換部品一覧

…お客様ご自身で交換可能な部品

※その他の部品交換はDetoコールセンターまでお問い合わせください。



本製品は、リフォーム構造により、お客様ご自身で部品を一部交換(有償)することが可能で、きれいな状態を保つことができます。

お客様ご自身で交換いただける部品

① 操作パネル 品番 31464 	② 給水ホースセット 品番 31153 パッキン<3個> パッキン(ストレーナ付) 本体 タンク 給水ホース 給水ホース	③ 分岐金具(パッキン付) 品番 31143
④ 便ふた用脚ゴム 品番 31142 <2個>	⑤ 便ふた 品番 31912 ホワイト 31465 アイボリー ※便ふた用脚ゴム付	⑥ 脱臭フィルター 品番 31139 ※DW-302のみ
⑦ ステンレスノズル 品番 31136 	⑧ 便座用脚ゴム 品番 31141 <2個>	⑨ 取付プレートセット 品番 31140 取付プレート 取付ボルトセット<2セット> 取付プレート位置決め用紙

交換部品専用 お問い合わせ・ご購入

Detoコールセンター



0120-571-131

【受付時間】9:00~18:00(土日祝を除く)

■ サポートガイド

交換マニュアルのダウンロードサイト



<http://www.deto.co.jp/support/deto/index.html>

仕様

型式	DW-301	DW-302
定格	単相AC100V 50/60Hz 456W	
区分※1	貯湯式	
年間消費電力量※2	149kWh/年 (208kWh/年)	
給水	方式	水道直結方式
	使用圧力	0.07~0.75MPa
洗浄装置	おしり吐水量	約0.35~約0.55L/分 (動水圧0.2MPaのとき)
	おしりパワー吐水量	約0.6L/分 (動水圧0.2MPaのとき)
	ビデ吐水量	約0.35~約0.55L/分 (動水圧0.2MPaのとき)
	タンク容量	0.7L貯湯式
	温度調節※3	マイコン制御、3段階調節 (約33/36/39℃) 及びヒーター「切」 節電時約30℃
	ヒーター容量	401W
	安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット、水位センサー、温度感知センサー
暖房便座	温度調節※3	マイコン制御、3段階調節 (約33/36/39℃) 及びヒーター「切」 節電時約30℃
	ヒーター容量	50W
	安全装置	温度ヒューズ、温度感知センサー
使用温度範囲	給水温度: 0~33℃ 周辺温度: 0~40℃	
脱臭方式	—	触媒フィルター(活性炭)
その他の安全装置	漏電遮断機能 (15mA 0.03秒以内)	
コード長さ	1.2m	
製品寸法	幅 約473mm×奥行 約535mm×高さ 約149mm	
製品質量	3.7kg	

※1 省エネ法 (2012年度基準) の区分

※2 省エネ法 (2012年度基準) に基づいた測定値 () 内は節電機能を使用しない場合の年間消費電力量

※3 ご使用の環境条件により、数値が変わる場合があります。

※ この製品は日本国内専用です。

※ 仕様・デザインは改良のため予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

故障したままのご使用や長年のご使用は、
電子・電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります。

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。



定期的な点検をおすすめします

安心してご使用いただくため、定期的な点検をおすすめします。
また、長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。

定期点検項目

下記項目に1つでも当てはまる場合はすぐに電源プラグを抜き、
止水栓を閉めて、発売元に連絡してください。

- 便座用脚ゴムが外れている、ガタツキがある
 - 電源コードがねじれたり便座で挟み込んだりしている
 - 便座にひびや割れがある
 - 便座が異常に熱いときや、冷たいときがある
 - 本体から水漏れしている
 - 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている
 - 電源コードが熱くなっている
 - 電源プラグの差込部が発熱・変色している
- など



故障したまま使わないでください

火災や感電、室内浸水の原因になります。異常に気付いたら、すぐに電源プラグを
抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、発売元に連絡してください。

